

自由闊達に挑戦し、喜びを分かち合えるグループへ

2021-2024年度中期経営計画における「多様な人材が活躍できる仕組みづくり」の取り組みを進める中で、あらためて「従業員への期待」を明確に示しました。一人ひとりが主体的にキャリアを描き、会社はその実現に向けた自己研鑽や仕事を通じた成長の機会を後押しするという基本的な考え方をベースにして、人事制度や教育研修制度、キャリアプランを後押しする人材の流動化や、様々な制約がある中でも働きやすい選択肢を充実させるなどの取り組みを進めています。

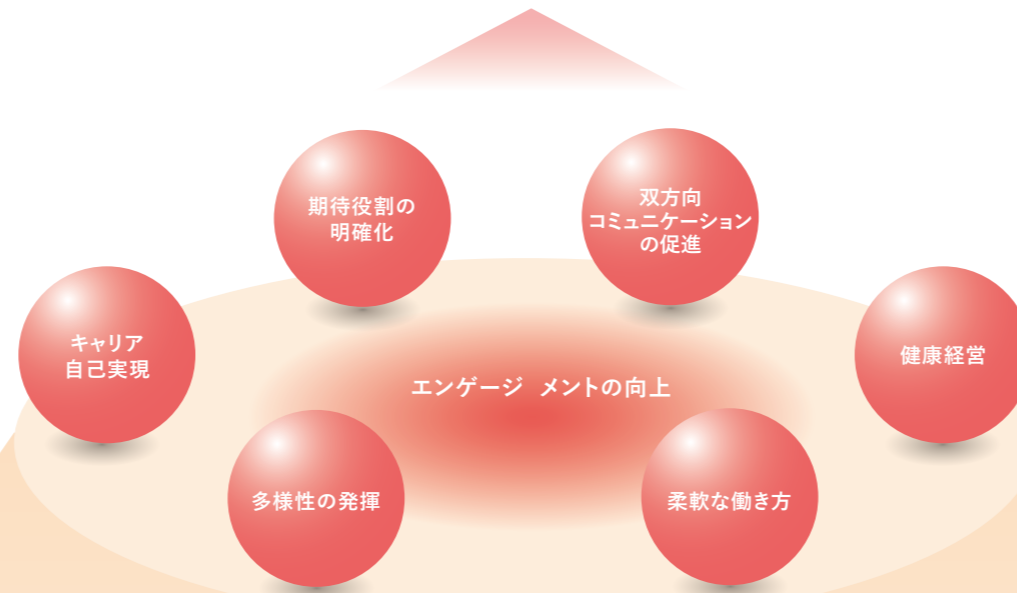
【従業員への期待】

一歩踏み込んだ厳しさをもち、プロとしての仕事を楽しむ

- ① 一人ひとりが自分の未来を描く
- ② 描いた未来を今の業務と重ね合わせる
- ③ 仕事にやりがいと喜びを感じ、自分の成長を実感する

この3点を実践することで、自分の存在価値を高めることにつながる

人的資本の最大化

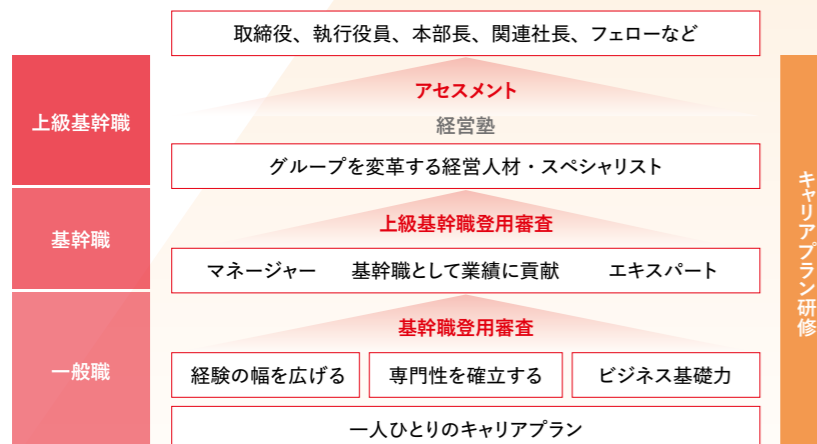


多様なプロ人材の成長を促進する育成体系

キューピー株式会社で、2021年度より導入した新育成体系では、入社してから基幹職になるまでに必要な経験値や学びを明確にするとともに、一人ひとりがキャリアプランを上司と共有し、その実現に向けた主体的な学びや挑戦を上司・会社が支援する仕組みを体系化しました。併せて組織の枠組みを越えた人材の流動化をグループ全体で進めることで、多様なキャリア形成を促進していきます。

また、人材の強化領域としては全社レベルでのIT・デジタルリテラシーの向上を図り、さらにはデータサイエンティストやDX人材の育成を進めています。

一方、2009年から継続している選抜型経営塾の受講者は累計88名にのぼり、多くの卒業生が経営層として活躍をしています。新社長の高宮はこの経営塾の第一期生でもあります。今後、育成体系・人事交流など、グループ各社と連動し、各種施策の展開・拡充を図っていきます。



キャリアプラン研修

ダイバーシティ & インクルージョンへの取り組み

多様な視点・スキル・経験を持つ従業員一人ひとりが、それぞれの強みを伸ばし、持てる力を発揮して、グループのめざす姿を実現していく。これが私たちが考えるダイバーシティです。そのための具体策として、勉強会やセミナーを積極的に開催するとともに、重要会議において参加者の20%以上を、部門や役職などを問わず多様なメンバーで構成することにより、議論の活性化を図る取り組み(KEEP20)や、異なる部門のメンバー同士で意見交換会を行い、違う視点からの気づきや刺激を得るとともに、従業員同士のつながりを強める取り組みなどを展開しています。お互いの個性や多様性を受けとめ、ともにのびのびと活躍し、挑戦する企業風土づくりに努めています。



ダイバーシティセミナーの様子

多様な働き方を後押しする環境づくり

新型コロナウイルス感染症の拡大は、働き方に対する意識を一変させ、ITを活用した効率化や制度の整備と定着が一気に進みました。業務に応じた出社と在宅勤務(リモートワーク)の併用や、サテライトオフィスの活用など、多様な働き方で仕事に専念することにより、成果の最大化をめざします。アフターコロナにおいてもこれまでの働き方にとらわれない発想で、それぞれの職場とIT部門が連携し創意工夫を重ね、従業員一人ひとりがフレキシブルな働き方を選択できる環境整備を引き続き進めています。



働き方を工夫して育児をする従業員

双方向コミュニケーションを促進

従業員のエンゲージメントは一つの打ち手で高まるようなものではなく、それぞれの施策の整合性と「言行一致」が重要だと考えています。そのためには、会社と従業員の双方向コミュニケーションが不可欠です。労使委員会はもちろん、若手従業員と経営層の意見交換会、人事本部直通の自己申告制度、従業員相談窓口の設置など、様々な形でコミュニケーションを取りながら、風通しがよく、働きやすく、より成果が出しやすい環境づくり・制度づくりを進め、従業員にとって、より魅力的な会社をめざしていきます。



オンラインでの意見交換会の様子

健康経営の推進体制強化



グループの従業員が健康であってこそ、より良い商品やサービスをお客様に提供できると考え、社長自らが最高責任者となり、グループ一体となって「本気の健康経営」に取り組んでいます。これまでの取り組みの結果、「健康経営優良法人2022」の認定を受けました。従業員が健康を維持・向上させ、生きがい、働きがいを感じることでできるグループをめざしています。

健康経営宣言

グループ各社の社長自らが「健康宣言」を発信することで、明確な意思・想いを従業員と共有する取り組みを進めています。

健康面談

社員全員を対象に健康面談を実施し、対話を通して一人ひとりの健康にむき合う取り組みを進めています。

グループ共通の健康指標

従業員や会社の「心と身体」の健康状態を独自の共通指標によって「見える化」することで、健康に対して意識改革を促す取り組みを進めています。具体的には「メンタル指標」「健康年齢」について、個人への通知と並行して、組織の状態を上長にもフィードバックすることで、個人と組織がベクトルを合わせて、生活習慣・働き方や職場環境をより良くしていく活動につなげていきます。

